

第2回理事会 はじめに

「安全対策と防犯事業の両立」を全体のソリューションへ

JEAS 会員の皆様、日頃より当工業会の運営のご理解・ご支援をいただき有難うございます。

さて、約20年前より EAS ステッカーは、医療機器との干渉試験を受けた EAS 機器に貼られており、それらの総出荷枚数は 286,000 枚です。これらの「安全対策と防犯事業の両立」の活動は長年月を費やし、いまでは多くの小売業や地域の皆様に認知されるようになりました。

そのスキームを万引防止・ロス対策の全体のソリューションへと波及させるために、工業会運営を以下の方向で進めております。

1. 顔認証システムに関して、ユーザー様や報道機関からの問い合わせは「推奨顔認証システム」企業を優先しております。皆様と共に尽力している認定制度なので、それを重んじます。
2. 同様に、今後は警備業務に関して、ユーザー様や報道期間からの問い合わせは「科学保安」企業を優先することとします。皆様と共に尽力し開催する講習会なので、それを重んじます。
3. その企業に JEAS 講習会や科学保安講習会の受講者が何人いるかということも、社会的評価や信用力になっていくよう、より良い研修制度にしていきたく考えております。



※現在、技術基準委員会では技術者向けの JEAS 認定の「JEAS 技術者講習会（仮称）」を準備しております。

関連情報 セキュリティ産業新聞 平成30年9月10日号
事故情報・先達の知恵を伝統継承する場 (JEAS 講習会)

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/road/situation459.pdf>



関連情報 セキュリティ 産業新聞 令和2年6月25日号
東西共通理念‘野に生きよう’防犯DXに纏わる2つの制度
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210625.pdf>

前回の理事会にて、店内での不審動作検知等の画像AI技術をもったIT系企業が2社JEASメンバーに加わりました。さらに店舗防犯情報（大量窃盗など）を地域の万引防止協会や各小売業団体に短時間のうちに共有するといった仕組みが徐々に構築されようとしています。この店舗内の防犯レーダーや地域・業界の防犯レーダー等の各社の事業を推進するためには、企業・地域・行政の協力や防犯情報の利活用への理解が不可欠であり、そのための渉外・広報活動を果敢に実施して参ります。

関連情報 セキュリティ産業新聞 令和2年10月25日号
顔認証技術は民主的利用を基底とする」証明の旅
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20201025.pdf>

結びに、7月6日から7月7日に実施された「ロス対策士」検定試験が広く定着し、その教育内容がユーザー様やJEASメンバーにとって、運営の定礎や石垣になっていくよう尽力してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。



テキスト本文より JEAS に関係する箇所（一例）

- 91 頁 警備員（私服、制服、グリーター）の導入
- 93 頁 監視システム
- 125 頁 JEAS 講習会修了証
- 120 頁 万引防止システム（EAS）
- 127 頁 EAS 機器導入店表示ステッカーの存在意義
- 130 頁 セルフレジ不正対策
- 131 頁 JEAS 推奨顔認証システム制度
- 141 頁 物理的アクセス・コントロール

関連情報 セキュリティ産業新聞 令和2年2月10日号
国家百年の大計 LP 教育を創った先駆者の進化と融合
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210210.pdf>

～防犯民主主義実現に向けて～
EAS 機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会

認定個人情報保護団体
工業会 日本万引防止システム協会